

めあて

日本の伝統文化でもある茶道を体験することにより、興味・関心を深め伝統文化に親しもうとする心情を育てる。

対象：クラス単位・学年単位

対象

小4

小5

小6

中1

中2

茶 道



授業の流れ（基本プラン）

1～2時限（通常の授業時間）

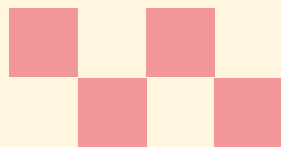
あいさつ（講師紹介）

講 話

実 演

体 験

質 問



◆講 話◆ 茶道の歴史とお道具について

基本の心「わけいせいじゃく和敬清寂」

お茶の点て方、飲み方、お菓子の食べ方

《歴史的背景などについて話をし、身近なものであることに気づいてもらう》

◆実 演◆ お手前を見る
《実際に見ることで魅力を感じさせる》

◆体 験◆ 何グループかに分かれて、お茶を点てて飲んでみる
《実際にお手前をすることで、茶道における美しい立ち居振る舞いを学ぶ》

◆質 問◆ 体験したことでの疑問、知りたいこと等を質問してみましよう



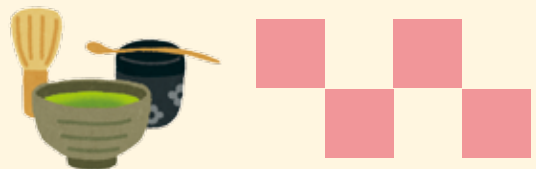
実 演



講 話



体 験



茶道とは・・・

飛鳥時代に中国より仏教伝来と共に、我が国に伝承されたものです。当時は、医薬または儀式用のものでした。奈良・平安・鎌倉・室町と各時代を経て、それぞれのあり方で茶を用い、茶道として考えられるようになったのは室町時代以降となります。これから、千利休、豊臣秀吉との歴史がはじまります。

☆実施校からの声☆

- ・ 社会科の歴史（室町文化・千利休・秀吉）の学習にも関連し、高い関心を示していた。
- ・ 先生から、相手のことを思う心を大切に…という言葉があったからか、お茶をいただくときお茶をたてるときなど、作法にもちょっとした心遣いを心がけているようだった。
- ・ 日本古来の文化に触れる機会がなかなかありませんので、こうした場を設けていただければ子どもたちも、自国のよさに改めて気づいたり、興味をもつきっかけになると思います。